

11月1日は
市制施行記念日



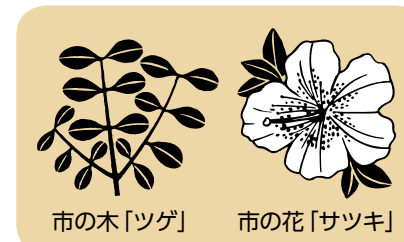
翼の黄色と尾の形が目印 「市の鳥」カワラヒワ

関シティプロモーション課 ☎(235)4574

「存じですか」市の木「市の花」市の鳥

11月1日、海老名市は市制施行45周年を迎えました。町が市として歩み始めた昭和46年以降、まちが発展する一方で木々の緑は失われつつありました。そんな危機感から、海老名の自然環境に対する意識を高めようと、市は「市の木」「市の花」の制定を企画。47年の市制施行1周年を機に市民投票で「市の木」をツゲ、「市の花」をサツキと決めました。また、市制施行20周年の平成3年には、自然保護と鳥獣愛護のシンボルとして「市の鳥」をカワラヒワに制定しました。

市制施行記念日の節目で定めてきた木・花・鳥。ツゲとサツキは、街中や住宅地などでもよく見かけるなじみのある植物ですが、カワラヒワはその姿と大きさから、よくスズメに間違えられてしまつたため、「見たことがない」という方も多いのではないのでしょうか。



皆さんが必ず見たことがある鳥です



坂本堅五氏

今里在住の野鳥専門家。日本鳥類保護連盟専門委員。海老名野鳥観察の会指導員をはじめ野鳥に関するさまざまな分野で活躍中。

カワラヒワを
見つける
4つのポイント



カワラヒワ
スズメ目アトリ科。全長14.5cm。太いくちばしと羽の黄色い帯が特徴。

③くちばし
ピンク色のくちばし。堅い木の実や種子を好んで食べるため、太く短い

④鳴き声
「キリキリコロコロ」と高い声で鳴く。時々「ビーン」とさえずる

①黄色の斑
翼と尾に黄色い斑があり、飛び立つと、翼の黄色が帯状になる

②尾っぽ
M字型の深い切れ込み。エビの尾に似ている



イラスト、4・5ページ カワラヒワ写真：坂本堅五氏

皆さんは、カワラヒワを見たことがありますか。カワラヒワは、翼と尾の黄色い斑が特徴の、くすんだ緑色をした鳥です。主に一年を通してどこにでもいる「留鳥」で、河原や農耕地、公園で比較的多く見られ、市街地でも電線に止まり、「キリキリコロコロ」と鳴いています。木の実やヒマワリなどの種子が大好きで、夏にはヒマワリ畑でよく見かけます。

「カワラヒワを見たことがない」「本当にいますか」とよく聞かれます。しかし、カワラヒワは珍しい鳥ではありません。皆さんがスズメと違って見過ごしているだけで、必ず見たことがあるはず。ポイントさえつかめれば誰でも簡単にカワラヒワを見つづられますよ。



▶スズメ(左)とカワラヒワ(右)。留鳥とは一年中ほぼ同じ地域に生息し、季節で移動をしない鳥